

本紙既報の通り、「海賊退治」を名目に、自衛隊のソマリア派兵が計画されています。「海賊対処法案」が国会の審議入りしています。また、自衛隊の「恒久派兵」を狙った、新たな法案を上程しようという動きも活発です。憲法九条と「自衛隊派兵」問題について、緊急学習会を計画しました。ご一緒にこの問題を考えましょう。



おしらせ

おがわ町九条の会 学習討論会

日時 6月20日(土) 午後1時30分

場所 小川町 図書館 会議室

内容 解釈改憲について考える

～恒久派兵法、海賊対処法を中心に

講師 渡辺礼一 氏

小川の言葉で「憲法九条」を(その5)

Eさんの素案 小川の言葉

あたし達は、正しい事は正しいと、やっではいけない事はやらないし、世界中のみんなと、平和に仲よく付き合っていきたいと思っているんだあ。

そして、国がどっかの国をせめたり、武力でおどかしたり、戦車や大砲を使ったりして国同志のあらそいをおさめたりするためにこーゆーものを使ったりすることは、今後一さいしません。

だから、陸軍や、海軍、空軍、それからあらゆる戦争の道具はもたないし、国が戦争をすることも、どっかのあらそいに架担することもみとめません。ぜったいに！

投稿先 FAX・Eメールまたは郵送で(発表を前提に・匿名発表可)

西田 一雄 みどりが丘 5-13-3 FAX 0493-72-4445 「会」代表の一人
笠原 武 飯田 423-1 0493-73-2536 元中学国語教諭
永島善太郎 上横田 1088-1 0493-72-1457 元 小学校教諭

連続学習

生活に憲法を活かそう

みんなで聞き、考え、話し合おう

社会保障と生活と憲法

「孫・子の代まで平和を。そのためにも日本国憲法九条を守ろう。」これが私たちの願いです。一方、貧困や飢餓など、平和を脅かす大きな要素が広がり、現在私たちを取り巻く社会・生活の環境は悪化の一途をたどっているように思います。生活と憲法の視点から社会保障にかかわる現状を知り、みんなで考えましょう。各界の専門家を迎えて3回の連続学習討論会を計画しました。どうか、お誘い合わせてお出かけください。

1 医療現場から

～医療現場の現状と問題点

患者を取り巻く状況や対処～

日時 7月18日(土) 午後1時30分

講師 川崎つま子氏 (小川赤十字病院看護部長)



2 高齢者と年金・生活

～年金問題と年金生活者が抱える諸問題～

日時 8月1日(土) 午後1時30分

講師 齊藤 健氏 (年金者組合埼玉県本部委員長)

3 高齢者と介護

～高齢者介護と実情～ (相談もお受けします)

日時 9月26日(土) 午後1時30分～

講師 堀越清子氏 (居宅介護事業所かたくり ケアマネージャー)

会場 小川町 図書館 会議室(3回とも)

こちらもお知らせです。どうかご予定に加えてください。

◆おがわ町九条の会総会 9月12日 図書館 視聴覚室

◆第四回町民コンサート 10月31日 パトリアおがわ

おがわ町九条の会 無言館バスツアー

晴天に恵まれた5月15日、長野県上田市の戦没画学生の絵画が展示されている、「無言館」方面（他に佐久市立近代美術館）にバスツアーに行ってきました。30余名の皆様に参加を頂き、有意義で楽しいひと時を過ごすことができました。時間的な制約があって、当初予定していた、「松代大本営跡」まで足を延ばすことができませんでした（楽しみにされていた方もおられたでしょう。幹事の計画立案の甘さをこの場を借りてお詫びします。またの機会を楽しみにしててください）が、「無言館」では十分に時間をとって、若い戦没画学生の「無言」の声に耳を傾けることができました。参加の皆さんの感想を掲載させていただきます。



中世のヨーロッパの僧院を思わせる「無言館」

- ♥今回4回目ですが、何度行ってもよいところです。平日なのでゆっくり見学することができました。多くの言葉で“さけび”よりも、もっと多くのことを考えさせてくれる感動する作品に出会えました。（初雁寿美子）
- ◆志、希望を戦争によって一方的にはぎとられた若い魂の無念さや熱き心が言葉にならない深さで胸に迫りました。無言の重さです。（鶴谷ヒロ子）

- ♣以前から一度行ってみたかったので、この企画を楽しみにしていました。共通の志を持つ方々と参加できてよかったです。（島崎美和）
- ♣むごたらしいものをつきつけられる以上に戦没した画学生たちの静かな絵画が戦争の悲惨さと無意味さを物語っていました。今後再び同じ時代を繰り返さないためにも、九条を守らなければなりません。（西島純子）
- ♥愛する人、愛する故郷の風景など描かれたすべての作品から静かに、戦争は絶対にしてはならないというメッセージを受け取りました。（鈴木恵理子）
- ◆初夏の一日、楽しいバス旅行でした。無言館は一度行きたいと思っており、感謝しています。無念の思いを抱きながら出征した方たちのことを思うと、胸が締め付けられるようでした。どんな理由があっても人が殺しあうようなことはしてはならないと、改めて思いました。（長倉輝代）
- ♣無言館。画学生の悲痛な叫びが聞こえてくるような真迫の画に感動しました。戦争の悲惨さ、むごさ、無意味さも痛感させられ、九条をさらに大きく発展させなければとの思いを強くしました。近代美術館。具象的な絵画でわかりやすく、作品の思いが伝わってくる迫力を感じました。久しぶりに心いやされるひと時を楽しみました。（本多重信）
- ♣松代大本営跡というのを見たかったので残念だったが、自分の足で歩けたか疑問なので、今日で良かったのかもしれない。でもいつか行ってみたい。（匿名）



◆第三回比企地域九条の会交流会 からの報告

4月26日、比企地域九条の会交流集会在嵐山町中央公民館で開かれました。小川町のほか、東松山市、嵐山町、吉見町、鳩山町、の九条の会から、12名が参加しました。比企地域の九条の会が年に1度一堂に会して互いの活動の交流を図り、共通の課題に対して知恵と工夫を出し合う交流会には大きな意義があります。当日のアンケートから、見えてくる課題をご報告します。

- 2回目以上に率直な質問や参考意見が出されたように感じました。それは、それだけ各地域で取り組みが積み重ねられてきた結果のように思えました。複数の方々から、“続けること”の大切さが出されましたがその通りだと思います。
- 各地区の立派な活動を感じて聞くことができ、大変参考になりました。今後一層平和運動のために頑張りたいと思います。
- 高校生など若い人の考え方や今後の生き方を知らせるために現場の先生との話し合いの機会を持ってはどうか（若い人たちの考え方を学ぶために）。
- 全体を通して、どの会もそれぞれの課題を抱えつつ地域の人たちと一緒に進んでいることが伝わってきて、これからも地域の持ち味を生かした運動を地道に続けていこうと励まされた会議でした。
- 各地域九条の会の1年間の活動状況がわかり、勇気づけられました。財政的に問題がある地域もあり、会費制にしないと役員負担が多くなり、長続きしないのではないかと思います。会員を増やすこと、有料のイベントを計画し収支のバランスを考えながら運動を続けるべきだと思います。

「平和のための戦争展」実行委員会主催

東京大空襲/浅草界隈戦跡めぐり



浅草寺境内の焼け残った銀杏です。今残った跡の炭が、お焼けた跡の炭が、そのまま残っています。スゴイ！



台東九条の会の方

5月23日「浅草寺」から「言問い橋」まで、東京大空襲の戦跡ツアーに参加しました。（y）

浅草寺境内「母子地藏尊」の像。漫画家ちばてつやさんのデザインだそうです。



浅草寺境内湯川秀樹博士の揮毫の碑。

